

2023年12月7日
TOPPAN エッジ株式会社

TOPPAN エッジ、国内初 クレジットカード製造・発行で
カーボンニュートラルを実現し、PAS2060 検証を完了
流通量の多いデュアルインターフェースクレジットカードの製造・発行で
カーボンオフセットを実施し、脱炭素社会に貢献

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN エッジ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:添田 秀樹、以下 TOPPAN エッジ)は、クレジットカード製造・発行事業の一部においてカーボンニュートラルを実現し、11月28日に英国規格協会(British Standards Institution、以下 BSI)の PAS2060 検証を完了しました。クレジットカード製造・発行における PAS2060 検証によるカーボンニュートラルの保証取得は国内初となります。



12月6日に行われた意見書の授与式の様子



CNCV 793486

PAS2060 検証を完了したことを示すロゴマーク

TOPPAN グループは脱炭素社会の実現を目指し、「TOPPAN グループ環境ビジョン 2050」(※1)に掲げた目標達成に向け活動を推進しています。カード事業においては、リサイクル PET-G 樹脂を使用したカードをはじめ、環境配慮カードの開発・推進に取り組んできました。今回新たにクレジットカード製造・発行事業のカーボンニュートラル化に取り組み、PAS2060 検証による保証を取得しました。

本取り組みでは、国際ブランドの決済に使用され現在流通量が拡大している、接触型と非接触型の両方の通信が可能なデュアルインターフェースクレジットカードの一部工場における製造・発行事業を、温室効果ガス(GHG)排出量の算定対象に定め、カーボンオフセットを実施することでカーボンニュートラルを実現しました。

今回 PAS2060 検証が完了したことにより、TOPPAN エッジが提供する、対象のカードを採用しているクレジットカード発行会社(イシュア)は、Web ページなどへ検証取得カードであることを告知できるため、それを元に生活者はカードを申し込む際に環境に配慮したクレジットカードを選択できるようになります。

■ PAS2060 検証について

PAS2060 (Publicly Available Specification 2060) は BSI が発行する国際的な規格として、製品・サービスから生じる温室効果ガス(GHG)排出量を定量化、削減、カーボンオフセットし、カーボンニュートラルを実現した状態であることを第三者検証として保証するための検証仕様です。

気候変動の原因となっている温室効果ガス(GHG)は経済活動や日常生活で排出されており、持続可能な脱炭素社会の実現に向けて、マネジメントの必要性が高まっています。国際的な規格である PAS2060 検証は、カーボンニュートラルを実現・実証するための要求事項を定めたものであり、保証の取得によって環境面における信頼性を高めることができます。

■ 今回の検証範囲

今回の PAS2060 検証では、一部工場におけるカードの原材料調達からカード製造、カード発行、発行後の配送業者への輸送までを温室効果ガス(GHG)排出量の算出対象として、カーボンニュートラルを実現しています。



今回のカーボンニュートラル実現範囲のイメージ

■ 今後の目標

TOPPAN エッジは、カード事業に関わる温室効果ガス(GHG)排出量に関して、自社工場で使用されるエネルギーの省エネルギー化・再生可能エネルギー化と、サプライヤーエンゲージメント強化によってさらなる削減に取り組んでいきます。

※1 詳細 https://www.holdings.toppan.com/assets/ja/pdf/sustainability/2023/csr2023_environment-1.pdf

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上